

令和 8 年度岡山市公共下水道
事業計画等変更業務委託

特記仕様書

岡山市下水道河川局 下水道経営部 下水道河川計画課

1. 業務の目的

本委託業務（以下「業務」という。）は、岡山市において、公共下水道事業を施行するに当たり、本仕様書に示す事項に係る下水道法第4条に規定する事業計画を定めるのに必要な図書を作成、また、都市計画法第14条・第60条に規定する都市計画を定めるのに必要な図書を作成することを目的とする。

2. 業務の内容

業務の内容は、下記のとおりとする。

(1) 事業計画申請図書作成業務（流域関連公共下水道：汚水・雨水計画共）

1. 基本作業の確認	6,683 ha
2. 基礎調査	6,683 ha
3. 基本事項の検討	6,683 ha
4. 污水管渠計画（特別使用区域の編入）	1 ha
5. 雨水管渠計画	480 ha
6. 污水ポンプ場計画	6,683 ha
7. 雨水ポンプ場計画	480 ha
8. 財政計画の策定	6,683 ha
9. 提出図書の作成	6,683 ha
10. 設計協議	6,683 ha

(2) 都市計画決定図書作成（流域関連公共下水道：雨水計画のみ）

11. 都市計画決定申請図書作成	480 ha
------------------	--------

(3) 都市計画事業認可申請図書作成（流域関連公共下水道：雨水計画のみ）

12. 都市計画事業認可申請図書作成	480 ha
--------------------	--------

3. 作業範囲

(1) 事業計画申請図書作成業務（流域関連公共下水道：汚水・雨水計画共）

作業項目			作業内容	
			区分	作業の範囲
1. 基本作業の確認			基本事項の確認及び要望事項の打合せ	全体計画一般、財政状況、事業計画の作業スケジュール等、事業の目標年次、計画区域(区域外流入の有無)
2. 基礎調査				
	2-3	まとめと照査		「基礎調査」における方針の確定・確認と作業内容の照査
3. 基本事項の検討				
	3-1	事業計画区域及び計画フレームの設定	事業計画区域・分区の設定、計画処理人口・計画観光人口等の設定	全体計画の計画値に基づき、事業計画目標年次の区域内計画値推定
	3-2	計画汚水量、汚濁負荷量の算定	汚水量、汚濁負荷量原単位の検討	全体計画の計画値に基づき、事業計画目標年次の家庭汚水、観光汚水、工場排水の汚水量及び汚濁負荷量原

				単位の設定
			計画汚水量、汚濁負荷量の算定	事業計画目標年次の発生源別日平均、日最大、時間最大汚水量及びBOD、SS汚濁負荷量の算定
			計画流入・放流水質の決定	汚水量及び汚濁負荷量の地区、分区への配分、事業計画目標年次の流入水質及び放流水質の決定(BOD,SS)
3-3	まとめと照査		作業項目における方針の確定・確認と照査	「基本事項の検討」における方針の確定・確認と作業内容の照査
4. 污水管渠計画(特別使用区域の編入)				
4-4	区画割及び面積測定		路線ごとの区画割・面積測定	枝線管渠を含む路線ごとの管渠記号、排水区画割線の記入及び面積の測定・調整
4-5	流量計算		路線ごとの汚水流下量の算定	枝線管きよを含む管きよ記号、排水面積(各線、逓加)、管きよ延長(各線、逓加)、人口密度、人口(各線、逓加)、その他水量、汚水流出量等
4-7	区画割平面図作成			枝線管渠を含む管渠記号、区画割線、面積、分区界等の記入
4-12	下水道計画一般図作成			全体計画区域、処理区、計画区域、分区界、幹線ルート、ポンプ場、処理場の位置及び各名称、水質環境基準点の類型、類型区間の範囲、水質基準点の位置等の記入
4-16	まとめと照査		作業項目における方針の確定・確認と照査	「污水管渠計画」における方針の確定・確認と作業内容の照査
5. 雨水管渠計画				
5-6	流量計算		路線ごとの雨水流出量の算定	枝線管きよを含む管きよ記号、排水面積(各線など)、流達時間、流出係数、雨水流出量等
5-7	区画割平面図作成			枝線管渠を含む管渠記号、区画割線、面積、分区界等の記入
5-8	幹線管渠縦断面図作成			主要な管きよ(20ha以上、開きよは10ha以上)の縦断、幹線の名称、管きよ記号、各区間の距離、地盤高、管きよ形状、寸法、勾配、点検を行うためのマンホール位置の記入
5-9	幹線管渠の施設平面図作成		路線ごとの雨水流下量の算定	主要な管きよ(20ha以上)の施設平面、処理区の名称、幹線の名称、管きよ記号、各区間の距離、地盤高、管きよ形状、寸法、勾配の記入
5-11	下水道計画一般図作成			全体計画区域、計画区域、排水区、幹線ルート、ポンプ場等の位置及び各名称の記入
5-17	まとめと照査		作業項目における方針の確定・確認と照査	「雨水管渠計画」における方針の確定・確認と作業内容の照査
6. 污水ポンプ場計画				
6-4	容量、水理計算		施設能力決定 主要機器の能力決定	形状寸法、池数等(送水位置・水位の検討を含む)機種、容量、台数等

	6-9	まとめと照査		「雨水ポンプ場計画」における方針の確定・確認と作業内容の照査
7. 雨水ポンプ場計画				
	7-6	各種図面作成		一般平面図、施設の断面図(水位関係を含む)
	7-8	まとめと照査		「雨水ポンプ場計画」における方針の確定・確認と作業内容の照査
8. 財政計画の策定				
	8-5	まとめと照査	作業項目における方針の確定・確認と照査	「財政計画の策定」における方針の確定・確認と作業内容の照査
9. 提出図書の作成				
	9-1	事業計画書	予定処理区域調書の作成 予定排水区域調書の作成 吐口調書の作成 管渠調書の作成 ポンプ施設調書の作成	汚水、雨水 汚水、雨水 汚水、雨水
	9-2	事業計画説明書		下水道法施行令第4条の内容に準ずる
	9-3	提出図書まとめ		
	9-4	その他参考図書まとめ	打合せ議事録の作成	
	9-5	まとめと照査	作業項目における方針の確定・確認と照査	「提出図書の作成」における方針の確定・確認と作業内容の照査
10. 設計協議			発注者との設計協議	

(2) 都市計画決定図書作成（流域関連公共下水道：雨水計画のみ）

作業項目	作業内容	
	区分	作業の範囲
1. 基本事項の打合せ	要望事項の打合せ 計画決定作業方針打合せ	要望事項の内容把握 計画決定スケジュール、計画内容の打合せ及び提言、全体計画の確認
2. 総括図	下水道計画総括図の作成	縮尺 1/25,000 程度、都市計画総括図
3. 計画図	ポンプ場計画図の作成 終末処理場計画図の作成	縮尺 1/1,000 程度 白焼き着色 縮尺 1/1,000 程度 白焼き着色
4. 計画書	計画書の作成 理由書の作成	ワープロ・コピー ワープロ・コピー
5. 参考図書	計画概要書の作成 都市計画審議会用関連図書の作成 ポンプ場水位関係図の整理 終末処理場水位関係図の整理	ワープロ・コピー 付図の作成(都道府県用、市町村用) 白焼き 白焼き

6. まとめと照査	作業項目における方針の確定・確認と照査	「都市計画決定図書の作成」における方針の確定・確認と作業内容の照査
-----------	---------------------	-----------------------------------

(3) 都市計画事業認可申請図書作成（流域関連公共下水道：雨水計画のみ）

作業項目	作業内容	
	区分	作業の範囲
1. 基本事項の打合せ	基本事項の確認及び要望事項の打合せ	要望事項の内容把握 事業認可のスケジュール、認可区域面積、目標年次、整備計画、財政計画等の打合せ
2. 計画図	事業地を表示する図面の作成 位置図 下水道計画一般図 主要な管渠の平面図 管渠平面図 ポンプ場平面図 設計の概要を表示する図面の作成 主要な管渠の平面図 ポンプ場平面図	縮尺 1/25,000 程度 白焼き着色 縮尺 1/2,500 程度 白焼き着色 縮尺 1/500 程度 白焼き着色 縮尺 1/500 程度 白焼き着色 縮尺 1/500 程度 白焼き着色 白焼き 白焼き
3. 申請書	申請書の作成 計画書の作成 計画書 理由書 資金計画書の作成 下水道事業計画認可通知書の写等の作成	ワープロ・コピー ワープロ・コピー ワープロ・コピー 縮尺 1/1,000 程度 白焼き着色
4. 参考図書	計画概要書の作成 都市計画用途地域図の整理 主要な管渠縦断面図の整理 ポンプ場水位関係図の整理 ポンプ場吐口等施設図の整理 管渠の流量計算書の整理 字界図の整理 丈量図の整理	ワープロ・コピー 縮尺 1/25,000 程度(添付) 白焼き 白焼き 白焼き コピー 白焼き・区画割平面図使用
5. まとめと照査	作業項目における方針の確定・確認と照査	「都市計画事業認可申請図書の作成」における方針の確定・確認と作業内容の照査

4. 成果図書

提出する成果物は、次のとおりとする。

なお、成果物の作成にあたっては、その編集方法についてあらかじめ本市監督員と協議を行うものとする。

○事業計画申請図書作成業務

(1) 事業計画申請図書

(イ) 事業計画書

(ロ) 事業計画説明書

(ハ) 下水道計画一般図（汚水及び雨水）（縮尺 1/50,000 程度）

(ニ) 主要な管渠の区画割施設平面図（汚水）（縮尺 1/2,500 程度）

(ホ) 主要な管渠縦断面図（汚水）（縮尺横 1/2,500 程度、縦 1/100 程度）

(ヘ) 主要な管渠の流量計算書

(ト) ポンプ場施設図

平面図（縮尺 1/500 程度）

施設断面図（縮尺横任意、縦 1/100 程度）

(チ) 下水放流先の状況を明らかにする図面（縮尺 1/50,000 程度）

(2) その他参考図書

(リ) 新旧対象図（縮尺 1/50,000 程度）

(ヌ) 区画割平面図（汚水）（縮尺 1/2,500 程度）

(ル) 枝線の管渠流量計算書

(3) 打ち合わせ議事録

(4) 電子データ

1) (イ) ～ (ル) の作成に当たり使用したワープロ・表計算・CAD ソフト等
によるファイル（編集可能なベクトルデータ）

2) 上記 1) をラスターデータ化したファイル

(5) 提出部数

1) 報告書 A4 版製本 2 部

2) A4 ワープロ印刷 2 部：「①事業計画申請図書」「②その他参考図書」
を合冊

3) 巻表紙製本 「(イ) 事業計画書」「(ロ) 事業計画説明書」各 15 部

4) 電子納品用 CD-R 2 部

5) 打合せ議事録 1 式

○都市計画決定図書作成業務

(1) 都市計画決定図書

(イ) 計画書

(ロ) 計画図

- ① 下水道計画総括図（1/25,000 程度） 都市計画総括図 2 部と CAD データ
- ② ポンプ場計画平面図（1/1,000 程度） 陽画着色 2 部と CAD データ
- （2）その他参考図書
- （3）打合せ議事録
- （4）電子データ

上記の事業計画申請図書作成業務と同様。

○都市計画事業認可申請図書作成業務

- （1）事業認可申請図書
 - （イ）計画書
 - （ロ）計画図
 - ① 事業地を表示する図面（位置図、下水道計画一般図、主要な管きよの施設平面図、管きよ平面図、ポンプ場平面図） 2 部と CAD データ
 - ② 設計の概要を表示する図面（区画割平面図、ポンプ場平面図） 3 部と CAD データ
- （2）その他参考図書
- （3）打合せ議事録
- （4）電子データ

上記の事業計画申請図書作成業務と同様。

5. 参考図書

本業務は、下記に掲げる最新版図書を参考にして行うものとする。

- (1) 下水道事業の手引き（日本水道新聞社）
- (2) 下水道計画の手引き（全国建設研修センター）
- (3) 持続的な汚水処理施設整備のための都道府県構想マニュアル（国土交通省、農林水産省、環境省）
- (4) 流域別下水道整備総合計画調査指針と解説（日本下水道協会）
- (5) 下水道施設計画・設計指針と解説（日本下水道協会）
- (6) 下水道維持管理指針（日本下水道協会）
- (7) 小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説（日本下水道協会）
- (8) 下水道事業コスト構造改善プログラム（国土交通省）
- (9) 下水道事業における費用効果分析マニュアル（国土交通省）
- (10) バイオソリッド利活用基本計画策定マニュアル（日本下水道協会）

- (11)新都市計画の手続き（都市計画協会）
- (12)小規模汚水中継ポンプ場設計要領（案）（日本下水道事業団）
- (13)水理公式集（土木学会）
- (14)土木製図基準（土木学会）
- (15)土木工学ハンドブック（土木学会）
- (16)流出解析モデル利活用マニュアル（下水道新技術推進機構）
- (17)解説・特定都市河川浸水被害対策法施行に関するガイドライン（国土技術研究センター）
- (18)都市域における氾濫解析モデル活用ガイドライン（国土技術製作総合研究所・水害研究室）
- (19)合流式下水道改善計画策定のためのモニタリングマニュアル（案）（下水道新技術推進機構）
- (20)下水試験方法〔上巻・下巻〕（日本下水道協会）
- (21)建設省河川砂防技術基準（案）同解説，調査編（日本河川協会）
- (22)河川水質試験方法（案）（建設省建設技術協議会水質連絡会，河川環境管理財団）
- (23)市街地のノンポイント対策に関する手引き（案）
- (24)下水道総合浸水対策計画策定マニュアル（案）（国土交通省都市・地域整備局下水道部）

※上記以外の図書に準拠する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けなければならない。

※提出CD-R作成通則

(1)フォルダの構成

種別毎にフォルダを作成し、各フォルダに保存する。

また、報告書1冊を報告書の編冊どおり Docuworks（またはPDF）でFile化し、保存すること。

(2)CD-R ディスクのラベル

提出するCD-Rのラベル面には、下記の情報を明記すること。（図1-1参照）

なお、電子媒体には、必要項目を表面に直接印刷するものとする。シールによっては温度の変化で伸縮し、電子媒体に損傷を与えることがあるため、シールは使用しない。

- (1) 契約番号
- (2) 委託業務名
- (3) 業務完了日
- (4) 作成年月日
- (5) 発注者名称

- (6) 受託者名称
- (7) ウイルスチェックに関する情報
- (8) CD-Rフォーマット形式

プラスチックケースのラベルの背表紙には、下記のような情報を横書きで明記すること。

(図 1-2 参照)

- (1) 委託業務名
- (2) 作成年月日

図 1-1 ラベル記載例



図 1-2 背面紙記載例

△△△△業務委託	作成年月日 : 令和〇〇年〇月〇日
----------	-------------------